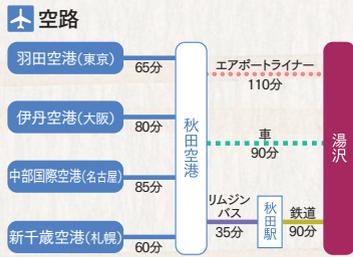
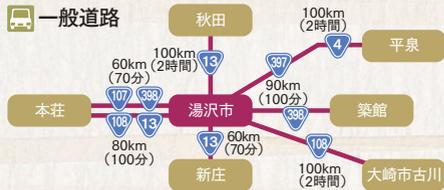


湯沢市へのアクセス



※アクセスの距離、所要時間はおおよその目安です。天候や道路状況によって変わる場合があります。



ゆざわにきてたんせ。



いく度、いい旅が湯沢にはあります。

ゆざわ

いぞの里
匠の里
小町の里

Navi



お問い合わせ 湯沢市産業振興部 観光・ジオパーク推進課

〒012-8501 秋田県湯沢市佐竹町1番1号
TEL.0183-73-2111 (代表) FAX.0183-79-5057
直通.0183-55-8180

湯沢市 観光 検索
ホームページはこちらから検索できます
2020.1

湯沢市観光ガイドブック Yuzawa city Sightseeing Guide Book

ゆざわ なび Navi

いで湯の里
匠の里
小町の里



いく度、いい旅が 湯沢にはあります。

秋田県の南の玄関口・湯沢市は、小野小町の生誕の地として伝えられる秋田美人の里。鄙びた中にもみやびな情緒の漂うまちです。古くは鎌倉時代に小野寺氏の城下町として開かれ、江戸時代に入って佐竹南家の統治のもと、院内銀山の繁栄もあって商業地として大いに栄えました。

夏の夜を彩る七夕絵どうろうまつりや、豪雪地ならではの冬の民俗行事・犬こまつりなど、往時をしのばせ、どこか郷愁を誘う伝統行事が「湯沢らしさ」を演出します。

市街地から一步飛び出せば、そこは美しい自然の宝庫。雄大な景観とともに各地にわき出る温泉が楽しめます。「湯沢」の名のとおり、市内には小安峡温泉、秋の宮温泉郷、泥湯温泉など、自慢の秘湯、名湯

が点在する「いで湯の里」です。四季折々の景色を眺めながら、ゆったりと温泉につかれば、きっと心も体も癒やされるはずです。

そして、湯沢市は全国に誇る物産のまちでもあります。日本三銘うどんと称される「稲庭うどん」や、老舗の酒蔵が醸す銘酒の数々は全国に名をはせています。また、約800年もの歴史と伝統を誇る川連漆器をはじめ、秋田仏壇や川連こけしなどの工芸品にも伝統の技が光る「匠の里」です。

訪れた季節や時間、場所によってさまざまな表情を見せる湯沢は、何度来ても新しい発見があります。湯沢市観光ガイドブック「ゆざわなび」を手に、「小町の里」湯沢のいいところ巡りをお楽しみください。



湯沢美人に出逢うたび

匠の技に惚れるたび

いで湯に浸るたび

もくじ

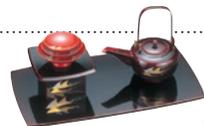
湯沢市への
アクセス情報は
最後のページ
です。

湯沢市の
見どころを
紹介しますよ



湯沢市観光PRキャラクター
『こまちちゃん』

- ゆざわの「ゆ」【湯っこ(温泉)】 02
小安峡温泉編～渓谷散策とツルツルの湯でこころもやすまる～
秋の宮温泉郷編～癒やしの秘湯郷で小町の気分～
泥湯温泉編～ごらく、じごくを巡ってみよう～
- ゆざわの「ざ」【財産】 08
湯沢の歴史と文化／豊かな自然
- ゆざわの「わ」【技】 12
湯沢の特産品／伝統の技を見学・体験
- ◆ ゆざわ歳時記 [伝統のまつり／イベント&花ごよみ・紅葉シーズン] 18
- ◆ ぐるっと湯沢ぷらん [紅葉おすすめコース／歴史を巡る旅コース] 22
旅のルートを決める参考にどうぞ!
- ◆ 湯沢市街マップ&街中おすすめグルメ 24
- ◆ 小安峡温泉・秋の宮温泉郷 マップ&インフォメーション 26
- ◆ 湯沢市全域マップ&インフォメーション 28



ゆざわジオパークで 見えない火山を体感しよう!

ゆざわジオパーク
キャラクター『しず小町』



ゆざわジオパークは約9700万年前の神室山花こう岩類を基盤としています。市内には、太古の火山噴火の痕跡や長い年月をかけて大地を浸食した水の働きなど、湯沢市の大地をつくったジオサイトがたくさんあります。

湯沢市をつくった火山は、今も『見えない火山』として地中深くで活動しており、豪雪がもたらす豊富な水と出会い『湯沢』の名のとおり豊富な温

泉や小安峡大噴湯といった形で地上に姿を現します。それこそまさに大地の鼓動を感じられる瞬間であり、ジオパークの醍醐味です。

この土地で生活する人々の暮らしや、文化、歴史、産業が大地の成り立ちによって形作られたという物語に触れることができるゆざわジオパーク。ぜひ、大地の鼓動とロマンを体感してください。



● ジオパークとは、地球科学的に貴重な自然遺産を含んだ、生態系や人間生活との関わりなどを楽しみながら学べる『ジオ(地球)』公園のことです。左のゆざわジオサイトアイコンが付く観光地は、ゆざわジオパークの中でもおすすめのスポットです!

ゆざわのゆ

いで湯の里湯沢へ
湯けひり目指して旅しよう。

湯 沢市は名のとおり、自慢の秘湯、名湯が点在するいで湯の里です。小安峡温泉・秋の宮温泉郷・泥湯温泉などそれぞれに個性があり、ぬくもりのある鄙びた風情が感じられます。ゆざわの旅はまず湯とともに。ドライブで周辺の観光も合わせて湯巡り旅をどうぞ。

◆ 渓谷散策とツルツルの湯でこころもやすまる

その一、小安峡温泉

子宝小町の湯

◆ 小安峡温泉

湯沢横手道路湯沢ICより車で約50分

開湯は江戸初期と古く、片足にけがを負った鶴がこの湯で傷を癒やしていたところから発見されたと伝えられている歴史ある温泉地です。(宿情報は27ページ)

☎(一社)湯沢市観光物産協会皆瀬事務所
☎0183-47-5080

MAP D-4



散策路がいろいろあるので、歩いてみてください。そのあとはゆっくり足湯に入ってください。足湯は無料です。

足湯で旅歩き足もリフレッシュ♪



小安峡温泉周遊
立ち寄りSPOT

冬の
小安峡も
いいですね!

おくおやす・おおもんせん

秘湯小町の湯

◆ 奥小安・大湯温泉

湯沢横手道路湯沢ICより車で約55分

MAP D-4

栗駒山の西麓、皆瀬川最上流に位置します。開湯は文化年間(1804年~1817年)と伝えられ、昔ながらの佇まいを残す、自然景観豊かな温泉地です。

☎阿部旅館 ☎0183-47-5102
よし川 ☎0183-47-5253



あぐりかんみなせ

小安のうめもの(おいしいもの)を集めた直売所

◆ あぐり館みなせ

湯沢横手道路湯沢ICより車で約50分

MAP D-3

地元の野菜や山菜、きのこ、手づくりのお菓子、切干大根などを販売している産地直売所です。

☎あぐり館みなせ ☎0183-47-5450
冬期休業：11月下旬~4月下旬

豪快な轟音と蒸気

◆ 小安峡大噴湯

湯沢横手道路湯沢ICより車で約50分

MAP D-3

皆瀬川の急流が長年にわたり両岸を浸食してきた天然の深いV字の渓谷。高さ約60mの谷底から大地の息吹を感じさせるように熱湯と蒸気が激しく噴出しています。

☎(一社)湯沢市観光物産協会皆瀬事務所
☎0183-47-5080

小安の地熱でおいしいもの

皆瀬地域では、小安峡温泉の温泉熱を利用し、切干大根などの加工食品や低温殺菌処理による風味と栄養価をそのまま凝縮させた牛乳などを製造しています。また、香り高いみつばの栽培も行き、地熱を有効活用しています。





◆癒やし秘湯郷で小町の気分に

その二、秋の宮温泉郷



あきのみやおんせんきょう

癒やし小町の湯

◆秋の宮温泉郷

湯沢横手道路雄勝こまちICより車で約25分

奈良時代に発見された湯量が豊富な秘湯の雰囲気ただよふ県内最古の温泉郷です。宿ごとに異なる源泉を持っているので、泉質や効能もさまざまです。(宿情報は27ページ)

☎秋の宮温泉組合(鷹の湯温泉内)

☎0183-56-2141

MAP C-4



せせらぎの聴こえる風
光明媚な景観は、武者
小路実篤などの多くの
文人にも愛されました。



自分だけの足湯完成!



かわらのゆっこ

オリジナルの足湯をつくろう

◆川原の湯っこ

湯沢横手道路雄勝こまちICより車で約25分

役内川の川原を掘ると温泉がわいてくるので、置いてあるスコップを使ってオリジナルの足湯をつくることができます。川の水とわき出る温泉をうまく利用し、楽しみながらつくってみませんか。

利用期間：5月～11月頃

MAP C-4



ゆのまたおおたき

森林浴を満喫しよう

◆湯の又大滝

湯沢横手道路雄勝こまちICより車で約35分

湯の又大滝は落差が40mあり、展望台からの眺望は抜群です。周囲が木々に囲まれているため、春は新緑、秋は紅葉が素晴らしく絶好のビューポイントになっています。

MAP C-4



秋の宮温泉郷周遊立ち寄りSPOT

のうさんぶつちよくばいじよなこまち

地元の新鮮野菜やお花をゲット!

◆農産物直売所菜菜こまち

湯沢横手道路雄勝こまちICより車で約1分

小町の市女笠をモチーフにデザインされた建物が目印の道の駅おがちに隣接し、湯沢市内の新鮮野菜や旬の果物はもちろん、手作りの漬け物や加工品もそろっています。

☎農産物直売所菜菜こまち☎0183-52-5525

MAP B-3



ゆのさわおんせん

美肌小町の湯

◆湯ノ沢温泉

湯沢横手道路雄勝こまちICより車で約15分

後三年の役からの帰途、源義家がこの地で傷兵を休ませたという伝承が残っています。近年、アトピー性皮膚炎などの皮膚病への効能が伝わっています。

☎日勝館☎0183-52-4129

MAP A-3

十二ひとえめぐり

秋の宮温泉郷に宿泊された方のみが利用できる特別企画です。宿で「湯めぐり帳」を購入し、サービスを受けられる場所でご呈示ください。宿泊された宿とは別の温泉で入浴できたり、お店などで割引サービスを受けたりすることができます。





◆ごらくく、じごくを巡ってみよう

その三、泥湯温泉



かわらげじこく

日本三大霊地

◆川原毛地獄

湯沢横手道路須川I.Cより車で約35分

MAP
C-4

恐山・立山と並ぶ日本三大霊地の一つです。奇岩の連なる岩肌の至る所から水蒸気や火山性ガスが噴出する地獄さながらの光景です。

冬期閉鎖：11月上旬～5月上旬



さんずがわけいこく

地獄の入口は絶景ポイント

◆三途川溪谷

湯沢横手道路須川I.Cより車で約15分

MAP
C-3

三途川溪谷は、川原毛地獄の入口にあります。この溪谷にかかる三途川橋は溪流から約40mの高さにあり、そこから下を眺めると、まさに断崖絶壁で「三途川」（冥土への路）と呼ばれるのも納得できます。橋の両端には、閻魔大王・泰山大王・延命地蔵・合掌地蔵の4体の石像が鎮座し、紅葉のころは絶景です。



かわらげおおゆたき

豪快な湯滝

◆川原毛大湯滝

湯沢横手道路須川I.Cより車で約35分

MAP
C-4

川原毛地獄にある遊歩道の入口から徒歩で約15分。湯沢渓谷にある高さ約20mの湯滝で、夏場は滝つぼと溪流に天然の露天風呂として入ることができます。（入浴の際は、水着の着用をお願いします）

入浴適期：7月上旬～9月中旬

冬期閉鎖：11月上旬～5月上旬



どろゆおんせん

隠れ小町の湯

◆泥湯温泉

湯沢横手道路須川I.Cより車で約30分

MAP
C-4

開湯は約1200年前とされています。江戸時代には「安楽泉」と呼ばれていた湯治場で、濁り湯であったことから「泥湯」と呼ばれるようになりました。湯治客でにぎわう風情漂う秘湯です。

奥山旅館 ☎0183-79-3021

小椋旅館 ☎0183-79-3035



ゆざわのざいざい

湯 沢市の歴史は古く、縄文時代の遺跡が多く見つかっています。また、平安時代の歌人「小野小町」の生誕の地ともいわれ、多くの伝承が残されています。1193年には小野寺氏が稲庭城を築き、約400年に渡り統治したといわれ、関ヶ原の戦いの後、佐竹領となりました。ぜひ、ゆざわの歴史や文化に触れてください。



横柄桶側胴具足
(湯沢市指定有形文化財)

佐竹南家の歴史

1602年三代義種が湯沢城代として入城し、その後1620年一国一城令により城が取り壊された後は南家の職名が所領と変わります。町割りは御屋敷(現市役所)を中心に築かれました。経済面では藩主義宣が力を入れた鉱山開発により院内銀山も栄え、湯沢が中継商業地として発展し、やがて酒造業などの産業発展につながっていきました。



ちからみず

昭和60年・環境庁日本名水百選

◆力水

湯沢横手道路湯沢I.Cより車で約5分

史跡「湯沢城址」のある中央公園内にあります。「飲むと力がわく」とも伝えられ、清水がわき出る一帯に佐竹南家の御屋敷があったことから「御膳水」と呼ばれていました。

いなにわじょう

稲庭地域の歴史と文化にふれる

◆稲庭城

湯沢横手道路湯沢I.Cより車で約30分

鎌倉時代初期に雄勝一帯を治めた小野寺氏が築いたと伝えられています。東北最大級のスロープカーで昇降でき、展示品から稲庭地域の歴史と文化を知ることができます。

☎稲庭城 ☎0183-43-2929

開館期間：4月中旬～11月上旬

休館日：火曜日(祝日の場合はその直後の平日営業日)



佐竹南家御日記
(秋田県指定有形文化財)



ゆざわじょうし

湯沢市街地と鳥海山を一望

◆湯沢城址

湯沢横手道路湯沢I.Cより車で約5分

鎌倉時代中期、稲庭城主小野寺氏によって築かれたと伝えられる湯沢城。現在は、中央公園から続く散策コースになっており、見張台跡地から湯沢市街地と鳥海山が一望できます。



いんないぎんざんいじんかん

赤レンガの趣ある建物

◆院内銀山異人館

湯沢横手道路雄勝こまちI.Cより車で約10分

JR院内駅に併設した、院内銀山の様子を今に伝える資料館です。銀山に関する貴重な資料のほか、岩井堂洞窟で出土した土器などを展示しています。

☎院内銀山異人館 ☎0183-52-5143

休館日：年末年始及び月曜日



おしらさまのしだれざくら

湯沢市指定天然記念物

◆おしら様の枝垂れ桜

湯沢横手道路雄勝こまちI.Cより車で約5分

白山神社(おしら様)境内にある樹齢約200年の一本桜です。東北・夢の桜街道、桜の札所・八十八カ所巡りの68番札所になっています。枝垂れ桜の見頃は4月下旬～5月上旬。

☎横堀地域づくり協議会

☎080-1815-0391(戸部)

小野小町誕生の地

平安時代の歌人小野小町は809年、湯沢市小野寺桐木田に生まれたといわれています。幼いころから賢く10代で都にのぼり教養を身に付けました。宮中に仕えた小町はその美しさと優れた才能で、時の帝から寵愛を受けましたが、36歳で宮中を退き、再び小野の里に戻ってきました。小町を想い追いかけてきた深草少将との「百夜通い」の逸話も残っています。

院内銀山の歴史

院内銀山は1606年に開山。江戸時代の天保期と明治時代中後期には日本最大の銀山となりました。長く秋田藩の直轄鉱山として藩の財政を支え、繁栄を誇ったと伝えられます。1954年に閉山した鉱山跡は、秋田県指定史跡となっています。明治天皇が御臨幸された日を記念した毎年9月21日の「鉱山記念日」には、鉱山内の金山神社で「院内銀山まつり」が行われます。



かしまさま

地域の守り神

◆鹿島様

各地に点在

鹿島様はわらで作られた人形で、昔から災害や疾病から人々を守り、五穀豊穡を祈る神として祭られてきました。湯沢地域の岩崎地区には3体の鹿島人形があり、雄勝地域にも道路沿いに置かれています。



お堂にも
ぜひきて
くださいな。



こまちどう

みやびな朱塗りのお堂

◆小町堂

湯沢横手道路雄勝こまちI.Cより車で約3分

小町堂は小町を奉る御堂として昭和28年に建てられ、現在の小町堂は平成7年に建て替えられました。

☎湯沢市雄勝観光協会

☎0183-52-2200

ゆざわの ざいさん

湯 沢市にある豊かな自然も大切な宝物です。日本の重要湿地500に選定されている虎毛山や花の百名山にも数えられる神室山など爽やかな新緑、可憐な高山植物が咲き乱れる夏、燃える紅葉と四季を通じてさまざまな表情をみせるゆざわの山々は、トレッキングや登山にもおすすめのスポットです。温泉とともに自然の豊かさもぜひ体感してください。



雲上のオアシス

◆虎毛山 (1,433m)

登山口まで湯沢横手道路雄勝こまちI.Cより車で約35分

山肌を走る幾筋もの沢が虎の縞模様に見えることから虎毛山の名前が付けられたといわれています。山頂の広い湿原では、初夏に可憐な高山植物が咲き乱れ、秋は湿原の草紅葉が毛皮を敷き詰めたかのように黄金色に輝きます。名前に「トラ」が付く山では日本一の高さがあり、「日本一のトラの山」とも呼ばれています。



とらげやま

MAP C-5



めたきさわ

初夏の新緑、秋の紅葉がオススメ

MAP D-3

◆女滝沢

湯沢横手道路湯沢I.Cより車で約50分

樹齢300年以上のブナの大木をはじめ、天然の原生林が生い茂る中で、トレッキングをしながら森林浴を満喫することができます。

☎(一社)湯沢市観光物産協会皆瀬事務所
☎0183-47-5080



とことんやまきゃんぷじょう

アウトドアを満喫しよう

◆とことん山キャンプ場

湯沢横手道路湯沢I.Cより車で約50分

露天風呂をはじめ、コテージやバンガロー、ツリーハウスがあるキャンプ場です。テントなどのレンタルも充実していて、ビギナーでもアウトドアライフをとことん楽しむことができます。

☎とことん山管理事務所 ☎0183-47-5241



ゆざわしかんこうくりえん

秋の味覚を探しに行こう

◆湯沢市観光栗園

湯沢横手道路湯沢I.Cより車で約10分

栗の木が約2.6haの山の斜面に植えられており、秋には栗拾いが楽しめます。ぎゅーりと実が詰まった栗で、毎年多くの人が訪れます。

☎(一社)湯沢市観光物産協会 ☎0183-73-0415
開園期間：9月中旬～10月上旬

MAP C-2



湯沢市おすすめ
トレッキングスポット

かむろさん

みちのくの小平プス

MAP B-5

◆神室山 (1,365m)

登山口まで湯沢横手道路雄勝こまちI.Cより車で約35分

秋田と山形の県境に位置し、南北26km余りに及ぶ神室連峰の主峰です。日本二百名山、花の百名山に選ばれ「みちのくの小平プス」とも呼ばれています。6月下旬には日本最大規模のキヌガサソウの群生が見られます。



たかまつだけ・やまぶしだけ

いで湯の山

MAP C-4

◆高松岳 (1,348m)・山伏岳 (1,315m)

登山口まで湯沢横手道路須川I.Cより車で約35分

高松岳は西方約2kmにある山伏岳と縦走コースで結ばれています。展望のよさと各登山口温泉地があるのも大きな魅力です。



こまちしゃくやくえん

癒しの空間

MAP B-3

◆小町芍薬苑

湯沢横手道路雄勝こまちI.Cより車で約2分

「平安歌人 小野小町が愛した伝説の花芍薬」をコンセプトに150種7,000株の様々な芍薬と四季の花々を楽しむことができます。

☎小町芍薬苑 ☎0183-52-5231

開園期間：5月中旬～10月下旬



匠の里としても有名な湯沢市。およそ800年もの歴史を持つ国の伝統的工芸品・川連漆器をはじめ、川連こけしや曲木家具など山間部の豊かな自然素材を利用したぬくもりのある工芸品が多いことも特徴の一つです。一品一品丁寧に作られた作品は、職人の真心が感じられます。旅のお土産にいかがでしょうか？



かわつら
漆器

川連漆器は堅牢なことで知られ「堅地仕上げ」といわれる下地塗りを何度も繰り返し、油分が多いつやのある漆で「花塗り」と呼ばれる高度な塗りの技法によりつくられています。装飾に施される繊細で流麗な沈金や蒔絵は、漆器の美しさをより一層引き立て、その品質は高く評価されています。



国の伝統的工芸品である川連漆器ですが、最近ではモダンなデザインのものも多くつくられています。伝統的なモノづくりを大切にしながら、新しい取り組みにもチャレンジする匠の心意気が伝わります。



かわつら
こけし



一筆眼の顔、愛らしい前だれ、素朴な味わいを醸し出すたたずまい。「川連こけし」は、漆器素地をつくる木地師たちにより、つくり始められたといわれています。



元禄時代からの伝統をもつ湯沢風。墨一色の「まなぐ風」や極彩色を施された武者絵風のものがあり、天にのぼる勢いの良さは縁起物としても親しまれています。

湯沢風



まげ
曲木家具

優雅な曲線を描き、軽量で丈夫な曲木家具。堅木を蒸して型にはめてつくられる19世紀ドイツ発祥の技法は、湯沢の家具職人の手により、今もなお受け継がれています。



あきた
秋田
だん
壇



川連漆器の塗りや金箔押しの技術が融合された秋田壇は、昭和37年に誕生しました。塗りのきめ細かさ、箔の美しさに定評があります。



かわつらしきでんとうこういかん

体験もできます
◆川連漆器伝統工芸館

湯沢横手道路湯沢ICより車で約25分

MAP
C-2

川連漆器の歴史に関する文献や資料、実際の工具や道具を展示しています。また、展示販売も行っているのでお気に入りの一品が見つかります。

(川連漆器の体験情報は17ページ)

☎川連漆器伝統工芸館 ☎0183-42-2410

休館日：12月31日～1月5日

ゆざわの職

人の技は工芸品のみではありません。「東北の灘」と称されるゆざわの酒や日本三銘うどんの一つ稲庭うどん、首都圏にも出荷される三関のさくらんぼなどの農作物もまたゆざわの職人技が光る逸品です。「おいしい」「安心・安全」という作るものに対するゆざわの人の思いが詰まった風土色あふれる特産品をぜひ味わってください。



いなにおうどん

守り継がれる伝統の技

◆稲庭うどん

日本三銘うどんの一つと称される稲庭うどんは、良質な小麦粉、塩、澄んだ水のみで丹念につくられる伝統と真心の逸品です。ふくよかな味わいとコシのある食感、手づくりのぬくもりが幅広い世代に愛され続けています。
(稲庭うどんの体験情報は17ページ)



ゆざわのさけ

東北の灘

◆ゆざわの酒

おいしいお米と清らかな水、酵母の熟成を左右する冷涼な酒造りに適した気候と杜氏の技とが行事に融合するその風味は、淡麗かつなめらかなので越しの良い美酒として知られています。
(酒蔵見学情報は16ページ)



酒蔵見学もどうぞ!



みつせきさくらんぼ

甘くておいしい果物の宝石

◆三関さくらんぼ

佐藤錦が主流で、首都圏市場に出荷され、高い評価を受けています。6月下旬～7月上旬頃に旬を迎えます。

☎JAこまちフルーツセンター

☎0183-79-2431



こまがたりんご

上品な甘さが特徴

◆駒形りんご

駒形地域のりんごは、明治時代に栽培が始められました。山間地特有の昼夜の温度差が、糖度の高いりんごを育てます。

☎JAこまちこまがたフルーツセンター

☎0183-42-4790



みつせきせり

郷土料理「きりたんぼ」に欠かせない

◆三関せり

茎が太く、長く伸びた根が白くしっかりしているのが特徴です。香りも良く色も鮮やかなので鍋に良く合います。



ひろっこ

雪の中から掘り出す冬のごちそう

◆ひろっこ

シャキシャキとした食感と、ねぎのような風味が特徴です。おひたしなどに使われ、広く親しまれています。



がっこ(つけもの)

親しみ深い故郷の味

◆がっこ(漬物)

雪深い湯沢で昔から保存食として受け継がれてきた味わい深い漬物です。地場産品の野菜を使った「いぶりがっこ」や「花ずし」などとても人気があります。

おくらぶどう

秋の味覚

◆大倉ぶどう

駒形大倉地域は昼夜の温度差が大きく、水はけのよい土地で果樹栽培に適し、ぶどうづくりが盛んです。甘みが強くおいしいと評判です。

☎JAこまちこまがたフルーツセンター

☎0183-42-4790



みつなしぎゅう・みなせぎゅう

こだわりの逸品

◆三梨牛・みなせ牛

大自然の恵みを受けて育った黒毛和牛です。柔らかく甘味のある肉質が、高級和牛として高い評価を受けています。



さんさい・きのこ

山々の恵み

◆山菜・きのこ

四方を山に囲まれた湯沢では、季節の山菜やきのこが豊富で、旬のものが直売所などに並び、味わえます。

ゆきわのわ

伝統の技を見て、触れて…。湯沢市の代表的な酒蔵や川連漆器、稲庭うどんなどを実際に見学したり体験したりしてみませんか？

伝統ある酒蔵を見学しよう

◆酒蔵見学

◆両関酒造(株)

明治7年創業。建造物は国の登録有形文化財になっています。

☎0183-73-3143 (要予約)

◆秋田銘醸(株)

大正11年創業。美酒爛漫の銘柄で広く知られています。

☎0183-73-3161 (要予約)

◆(株)木村酒造

創業は元和元年。秋田県の中でも歴史ある酒蔵の一つです。

☎0183-73-3155 (要予約)

MAPは、24・25ページ参照。



湯沢のお酒をぜひ試飲してみてください。



大きいタンクですね！



湯沢のお酒は古い歴史があるんですね。



かわつらしつきちんきん・まきえたいけん

子どもから大人まで楽しく学べる

◆川連漆器沈金・蒔絵体験

MAP C-2

川連漆器の伝統の技を体験できます。沈金はカンナと呼ばれる沈金刀で漆器の表面に模様を彫り、生漆をすりこんで金箔を置く作業です。蒔絵は筆で下絵どおりに漆を塗り、金粉・色粉などを蒔く作業です。

☎川連漆器伝統工芸館

☎0183-42-2410 (要予約)

休館日：12月31日～1月5日



二人とも上手上手。その調子です。

いなにわうどんてづくりたいけん

受け継がれる職人技

◆稲庭うどん手づくり体験

MAP C-2

300年以上続く歴史ある職人技にチャレンジ！絢う・つぶし・延ばしなどの工程を体験できます。ゆで方と盛り付けも習得できる製造・調理体験コースもあります。

☎佐藤養助総本店 ☎0183-43-2911 (要予約)



蒔絵のコースターも素敵ですよ。



沈金彫りのコースターも完成です！



丁寧な指導で教えてもらってあっという間にできました。

そばうちたいけん

厳選されたそば粉を使用

◆そば打ち体験

MAP C-3

丁寧な指導の下、初心者でもそば粉100%の手打ちそばを作ることができます。打ったそばは、その場で食べることもできます。

☎かえで庵

☎0183-58-5700 (要予約)

定休日：月曜日

もっこうくらふとたいけん

温泉の合間にほっこり制作

◆木工クラフト体験

MAP D-3

小安峡温泉総合案内拠点施設で気軽に体験できます。木の実などを使って、思い思いのアート作品を作り、楽しめます。

☎小安峡観光案内人の会(黒澤)

☎090-2793-5758 (要予約)



ゆざわ 歳時記 伝統のまつり

湯 沢市には、四季折々の伝統の祭りがたくさんあります。芍薬の花がほころぶ頃、華やかな小町まつりが開かれ、夏もまた、夕やみの夜空を彩る七夕絵どうろうまつりでにぎわいを見せます。このようにゆざわの祭りは、京の流れをくむ優雅な雰囲気を楽しめるものや城下町の歴史を伝えるものがあります。観光の際は、ぜひ祭りを取り入れたプランもどうぞ。



こまちまつり

小町が残した歌の世界に想いをはせる

◆小町まつり

6月第2日曜日とその前日

平安の歌人「小野小町」をしのび、市内から選ばれた七人の小町娘が小町の作った和歌を朗詠し、奉納します。

☎湯沢市雄勝観光協会 ☎0183-52-2200

MAP
B-3

まえもりこうえん さくらまつり

自然の癒やし、憩いの空間

◆前森公園 さくらまつり

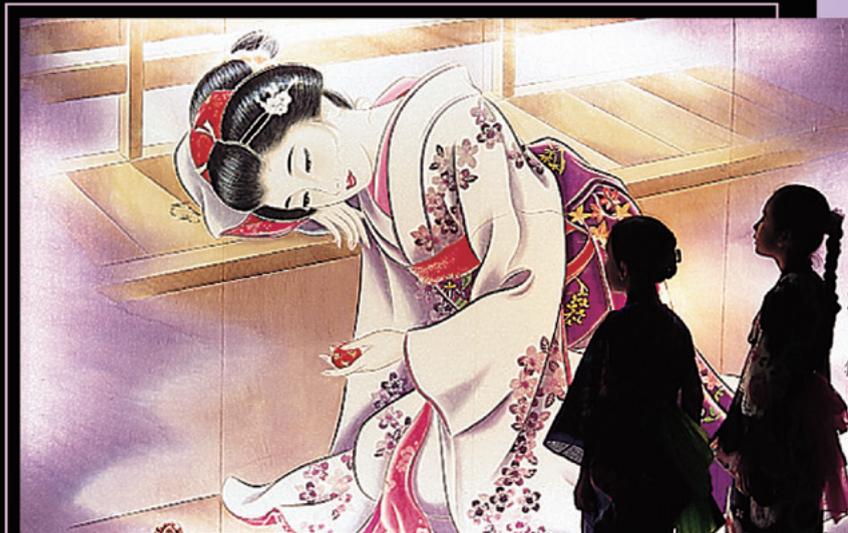
見頃：4月中旬～5月上旬

桜の名所として知られる前森公園は、約200本のソメイヨシノが咲き誇ります。地元の憩いの場としてにぎわう花見スポットです。

☎（一社）湯沢市観光物産協会 ☎0183-73-0415



MAP
B-1



たなばたえどうろうまつり

夏の風物詩

◆七夕絵どうろうまつり

8月5・6・7日

秋田藩佐竹南家に京都からお輿入れになられたお嬢様のために、五色の短冊に郷愁を託し、青竹に飾りつけたのが始まりといわれています。浮世絵や美人画が描かれた大小数百の絵どうろうが夕やみの夜空をあでやかに彩ります。

☎（一社）湯沢市観光物産協会 ☎0183-73-0415

MAP
B-2



だいまょうぎょうれつ

愛宕神社祭典

◆大名行列

9月4日曜日

古式ゆかしい衣装をまとった総勢数百名が行列を成す一大時代絵巻ながらの伝統ある祭りです。奴振りを披露しつつ市内を練り歩きます。

MAP
B-2



おがちだいはなびたいかい

夏の夜空を彩る

◆雄勝大花火大会

8月8日

役内川河川敷で花火が打ち上がり、自然豊かな山あいの夜空を美しく染め、観客を魅了します。

☎湯沢市雄勝観光協会 ☎0183-52-2200

MAP
B-3

ゆざわ 歳時記 伝統のまつり

豪 雪地帯である湯沢市は、雪を活用した祭りも行われます。日中は白銀のまぶしさの中、子どもたちの遊ぶ声が響きます。また夜はしんと降る雪の中、ろうそくに明かりがともると幻想的な世界が広がります。どちらの時間も私たちにノスタルジックな気持ちにしてくれます。雪見露天風呂とともに心も温かくなるゆざわの雪祭りにぜひおいでください。



いぬっこまつり

メルヘンの世界へといざなう

◆犬っこまつり

2月第2土曜日とその翌日

犬っこまつりは元和の昔より約400年もの長い間続いているといわれる湯沢地域の民俗行事です。会場内に雪で作ったお堂と犬っこが立ち並び、夜になりお堂のろうそくに火がともると幻想的な雰囲気包まれます。

☎(一社)湯沢市観光物産協会 ☎0183-73-0415

MAP
B-2



「白昼堂」といって人家を襲う「白討」という大盗賊がいましたが、湯沢の殿様がこれら一味を退治し、再びこのような悪党が現れないようにと、米の粉で小さな犬「こや鶴」を作らせ、旧小正月の晩にこれを家の入口や窓まにお供えして祈念させたのが、犬っこまつりの始まりとされています。



イベント& 花ごよみ・紅葉 シーズン

楽しいイベント
盛りだくさんです



◆花ごよみ

花の種類	場所	見ごろ
桜	前森公園	4月中旬～
	愛宕公園	4月中旬～
	千年公園	4月中旬～
	小町堂	4月下旬～
桜並木	雄物川堤防	4月中旬～
	寺沢役内川堤防	4月下旬～
枝垂れ桜	白山神社(おしら様)	4月下旬～
藤	千年公園	5月中旬～
かたくり	市民の森	4月下旬～
芍薬	小町芍薬苑	6月上旬～下旬
ミスバショウ	国道398号県境付近	5月中旬
花の百名山	神堂山	6月～10月
	木地山高原	6月～10月
	栗駒山	6月～10月
高山植物	栗駒山	6月～10月
	虎毛山山頂湿原	6月～10月
湿原植物群落	コケ沼	7月～9月
	泥湯	10月上旬～
	須川高原	10月上旬～
紅葉	木地山	10月中旬～
	秋ノ宮	10月中旬～
	小安峽	10月中旬～

◆イベントカレンダー

月	イベント名	開催日
1	かだる雪まつり	上旬
	しがっこまつり	上旬
2	犬っこまつり	第2土曜日とその翌日
	雄勝の雪まつり	第2土曜日
	三関大綱引き大会	第2日曜日
3	湯沢市凧あげ大会	第3日曜日
	小町まつり	第2日曜日とその前日
6	小安峽つりっこ大会	第2日曜日
	七夕絵どうろまつり	5・6・7日
8	雄勝大花火大会	8日
	役内川夜突き大会	14日
	仮装盆おどり大会	21日
	院内銀山まつり	21日
9	大名行列	第4日曜日
	全国まるごとうどんエキスポ	上旬
10	稲庭城まつり	上旬
	川連塗りフェア	第3日曜日を挟む全曜日～月曜日

ぜんこくまるごとうどんエキスポ

一堂に全国のうどんが大集合!

◆全国まるごとうどんエキスポ

10月上旬

郷土に根付き独自の食文化をつくる「うどん」は、地域によって様々な食べ方があります。こうした全国のご当地うどんを集結し、「うどん食文化」を通じて地域の垣根を越えた連携を生もうと、2011年から始めた全国初の「うどん」のイベントです。

☎全国まるごとうどんEXPO実行委員会
(湯沢商工会議所内) ☎0183-73-6111

MAP
B-2



絶景スポットをゆったり満喫!

紅葉おすすりめコース

所要時間：約6時間(車+徒歩)

ぐるっと湯沢ふらん2

小野小町の足りをたどってみよう!

歴史を巡る旅コース

所要時間：約3時間(徒歩)

① 一里塚(愛宕町) MAP B-2

◆秋田県指定史跡で樹齢約400年の榎ノ木(ケヤキ)が残っています。



② 稲庭城 MAP C-2

◆スロープカーで稲庭城に行くと展望台があり田園風景や皆瀬川を眺めることができます。(8ページ参照)

④ 牛乳やさんのソフトクリーム

◆小安峡温泉の温泉熱を利用して作られたソフトクリームでちょっと休憩。(3ページ参照・MAPは26ページ参照)

☎(株)栗駒フーズ
☎0183-47-5859

③ 小安峡大噴湯 MAP B-3

◆遊歩道を散策したあとは、各所にある足湯で歩いた足を癒やしてください。(3ページ参照)



手焼きワッフルソフトがオススメ

⑥ 泥湯温泉 MAP C-4

◆大自然を眺めながら入る露天風呂で旅の疲れも癒やされ、まさに極楽です。(6ページ参照)



⑤ 川原毛地獄 MAP C-4

◆標高は約800m。草木が生えない灰色の山肌から水蒸気や火山性ガスが噴出する光景は迫力満点です。(7ページ参照)

① 小町堂 MAP B-3

◆小野小町をしのんで建立された朱色のお堂は、華やかで小町を思わせてくれます。(9ページ参照)



② 桐木田の井戸 MAP B-3

◆この井戸は真上から見ると自然石が五角形に組まれていて、これは都を中心に多く見られた形です。ここで小町は生まれ、この井戸の水を産湯につかったといわれています。

☎湯沢市雄勝観光協会
☎0183-52-2200

係は小町堂の周りに在ります。



③ 姥子石 MAP B-3

◆自然石には梵字が刻みこんであり、小町の母の墓、墓碑として伝えられています。

☎湯沢市雄勝観光協会
☎0183-52-2200

⑤ 道の駅おがち

「小町の郷」 MAP B-3

◆物産館では湯沢の特産品が多数そろっているので、お土産をお求めの際はぜひお立ち寄りください。

☎道の駅おがち「小町の郷」
☎0183-52-5500

④ 小町の郷公園 MAP B-3

◆小野小町の伝承をテーマにした公園。平安絵巻の世界や小町伝承にまつわる遺跡をイメージした施設があります。

☎道の駅おがち「小町の郷」
☎0183-52-5500



⑥ こまちカフェ

ボスコ MAP B-3

◆道の駅おがち「小町の郷」の敷地内にあり、季節に応じたジェラートがオススメです。

☎道の駅おがち「小町の郷」
☎0183-52-5500



湯沢市街マップ



街中おすすめグルメ



おらんだやき

定番おやつ ◆オランダ焼

マヨネーズとハムが具材の大判焼き。ふわふわの皮はほんのり甘く、たっぷり入ったマヨネーズとハムの旨味が口いっぱい広がります。

●高市青果店 ☎0183-73-2623

さけかす 伝統の酒粕文化を活かした商品がズラリ

◆酒粕

酒のまち湯沢では酒造りが育んだ伝統の酒粕文化が息づいています。酒粕を活かしたスイーツや料理を街中で味わうことができます。ぜひ街歩きしながら酒粕文化に触れてください。



らーめん

めんのみち

◆ラーメン

湯沢市は稲庭うどんしかり、ラーメンも人気があり、めんのみちといえるほど。市内にはオリジナリティあふれるラーメン店がたくさんあります。



街中の温泉宿



ゆのはらおんせん・ゆざわおんせん

麗し小町の湯

◆湯の原温泉・ゆざわ温泉

湯沢横手道路湯沢I.Cより車で約5分

市街地から近い場所にあるので、お祭りや周辺観光を楽しめるぜいたくな温泉地です。

●湯の原温泉 ☎0183-73-2062

●ゆざわ温泉 ☎0183-73-0135

いんふおめーしょん

◆湯沢市街宿泊施設

名称	TEL 0183
①湯沢ロイヤルホテル	72-2131
②湯沢グランドホテル	72-3030
③佐東旅館	73-1118
④湯の原温泉	73-2062
⑤ゆざわ温泉	73-0135
⑥美山荘	73-6120

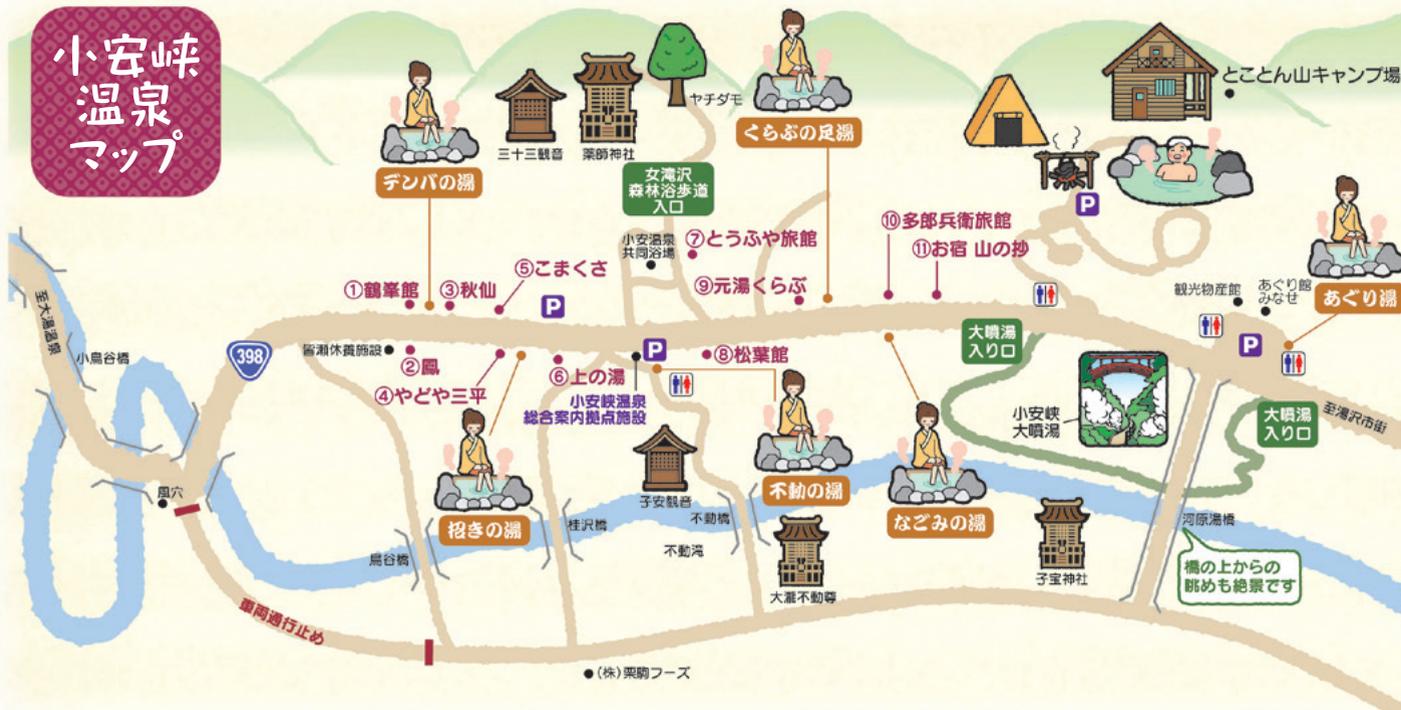
◆その他

名称	TEL 0183
(一社)湯沢市観光物産協会	73-0415
湯沢駅観光案内施設	56-6226

湯沢は
グルメも施設も
充実しています



小安峡 温泉 マップ



いんふおめーしょん

❖小安峡温泉宿泊施設

名称	TEL 0183
①鶴峯館	47-5335
②鳳	47-5209
③秋仙	47-5800
④やどや三平	47-5440
⑤こまくさ	47-5181
⑥上の湯	47-5073
⑦とうふや旅館	47-5415
⑧松葉館	47-5019
⑨元湯くらぶ	47-5151
⑩多郎兵衛旅館	47-5016
⑪お宿 山の抄	47-5550

❖その他

名称	TEL 0183
(一社)湯沢市観光物産協会皆瀬事務所	47-5080
皆瀬休養施設	47-5222
とことん山管理事務所	47-5241



いんふおめーしょん

❖秋の宮温泉郷宿泊施設

名称	TEL 0183
①新五郎湯	56-2331
②太郎兵衛	56-2036
③おなじみ荘	56-2415
④稻住温泉	58-1300
⑤秋の宮山荘	56-2400
⑥鷹の湯温泉	56-2141
⑦宝寿温泉	56-2733

❖その他

名称	TEL 0183
秋の宮温泉組合(鷹の湯温泉内)	56-2141



秋の宮 温泉郷 マップ



湯沢市
全域
マップ

観光のお問い合わせ

名称	TEL 0183
(一社) 湯沢市観光物産協会	73-0415
(一社) 湯沢市観光物産協会 稲川事務所	43-2649
(一社) 湯沢市観光物産協会 皆瀬事務所	47-5080
湯沢市雄勝観光協会	52-2200
秋の宮温泉組合(鷹の湯温泉内)	56-2141
湯沢駅観光案内施設	56-6226
神室山・虎毛山に 関するお問い合わせ	080-5220-4958 (湯沢山岳会 酒樹)

観光ガイド案内

名称	TEL 0183
湯沢観光ガイドの会 (小嶋)	090-7078-0009
雄勝観光ガイドの会 (道の駅おがち内)	52-5500
稲庭観光ガイドの会	43-2364
ゆざわジオパーク ガイドの会	56-6226
小安峡観光案内人の会 (黒澤)	090-2793-5758

旅行案内・交通機関案内

名称	TEL 0183
羽後交通観光 湯沢営業所	73-1151
高勝観光	52-2161
稲川観光レンタカー	42-3296
レンタカーこまち	52-5353
レンタカーこまち 湯沢インター店	55-8737
瀬川輪船・橋レンタカー	43-2131
トヨタレンタカー 湯沢店	72-0100
小安タクシー	47-5154
小安タクシー 稲川営業所	43-2005
新生タクシー	73-3171
仙秋タクシー	52-2055
湯沢タクシー	73-2151
湯沢タクシー 川連営業所	42-2015
バス	
羽後交通 湯沢営業所	73-1153
駅	
JR東日本 湯沢駅	73-2044

宿泊施設等案内

名称	TEL 0183
民宿かわばた食堂	73-4249
小森旅館	42-2345
旅館小町荘	52-2140
菊地旅館	52-2329
ほっと館(日帰り湯)	52-2101